

提出日 2025 年 2 月 28 日

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済学部	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	タイ	留学先大学名	イースタン・アジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は、海外に行った経験が一度もなく日本以外の場所にも行ってみたいと思ったからです。その中で、日本と違った文化や感じ方など異文化での在り方を知ることが私のなかでの目的です。そして、日本の生活と違った海外での生活について知り視野を広げてみたいと思いました。また、私はあまり英語が得意ではなく言語に自信はありませんが、苦手な英語に挑戦し他国の方とのコミュニケーションを図りたいと思いました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など）	現地では、イースタン・アジア大学の学生と交流を図り沢山の観光地などに行きました。二日目には、大学で少しタイ語の挨拶や簡単な単語、数字などを勉強しバディの学生が丁寧に教えてくれました。日本語とは全く違いとても難しかったですが、良い勉強になりました。現地での活動は主に観光地に足を運び色々な文化に触れることができました。特に、アユタヤ遺跡では日本にはない雰囲気のある場所でもとても印象に残っています。特に、日本と違うと感じたのは夜でもお祭りみたいな雰囲気のある場所があり開放的なイメージが強くなりました。
3. 留学の成果 （ ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など ）	私は、この留学を通して、日本とタイの文化の違いを沢山感じることができました。町の雰囲気やタイに住んでいる人たちの人柄、ホテルでの従業員の人の雰囲気など異文化での在り方を知ることができ目的達成へと繋がれたと思います。私がタイに行って一番感じたことは、日本のホテルとタイのホテルは全く違い、タイのホテルはお風呂の浴槽が無かったり、周りにいる動物が日本とは全く違っていました。聞いたことのない鳥の鳴き声や道路の至る所に犬が歩いたりなど初めて見る光景に驚きました。そして、タイではお店などに行くとチップを渡す制度があることに驚きました。日本ではチップを渡すことが全くないのでタイと日本との違いを改めて実感しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はこのタイでの経験を、これからの日本での生活でもっと視野を広げて色々なことに挑戦できるよう活かしたいと思いました。また、英語やタイ語をもっと勉強して次に海外に行ったときに活かせるように身に付けたいと思いました。そして、今回のタイでの経験を経て、海外への興味がより強くなり、他にも行きたい国が沢山あるので実際に訪れ、それぞれの国の文化などについて知りたいです。また、留学先で仲良くなった友達との交流もこれから大切にしていきたいです。
5. 自由記述	私は、タイが初めての海外で不安もたくさんありましたが、友達やバディの学生たちと一緒にタイの観光地に行ったりなど様々な経験を経て充実した7日間を過ごすことができました。また、海外に行く機会があればタイにも行ってみたいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 2 月 28 日

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	タイ	留学先大学名	イースタン・アジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私がアジア研修に参加した理由は、国際経験を通して自分の視野を広げたいと思ったからである。海外では日本とは違う異国の雰囲気に触れることができたり、普段の生活では出会えない風景にも出会えたりするので、非日常を楽しみながら新しい発見にも気づけるかもしれないと思い参加した。また、今回のアジア研修での目標は、ただ単に観光するのではなく、タイの学生たちと交流する機会が多いと思ったので、新しい人間関係を構築し、現地の友達を作ることであった。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など）	タイでの現地の活動は、バディの学生が積極的に日本語で説明してくれながら、タイの有名な寺院を巡ったり、タイならではの象乗り体験や民族衣装を着たりする体験をしたり、タイの伝統的なお菓子を作ったりなど、タイでしかできないことを多く体験した。また、タイの学生がパワーポイントを使ってタイ語のレクチャーをクイズ形式で行ってくれたり、タイの文化の話もしてくれたので、タイについての知識が少し増えた。そして、タイは日本よりも大きなデパートがいくつもあり何回か行くことができたので、そこでタイの有名なお土産を買い、タイ料理を食べるなど、文化に触れる点でとても有意義な時間を過ごせた。
3. 留学の成果 （ ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など ）	私のアジア研修の目標は、新しい人間関係を構築し、現地の友達を作ることだったが、1週間の活動を通して十分に達成できたと思う。初めは緊張していたけれど、バディの学生やタイの学生たちが積極的にフレンドリーに話しかけてくれたおかげで、自分自身も緊張が解れ自分からも話しかけることができた。非常に多くの会話をもてたことで絆も深まったと感じる。また、タイで1週間生活してみて気づいたことは、仏教が生活に根付いているということである。日本にもお寺は多いけれど、タイでは日本と比にはならないくらいお寺の数が多かったり、オレンジ色の服を着たお坊さんを何回も見かけたりしたので、神様の存在を信じていて信心深い人が多いのだと感じた。そして、タイに行って一番感じたことは、LGBTの人が当たり前にあちこちに存在していることである。日本では、まだ少し偏見があるけれど、タイでは当たり前のことで差別も少ないとタイの学生たちに聞いたので、日本もそのような社会になれば良いなと実感した。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はタイでの活動中は、自分で考えて自ら行動する機会が多かったので、自立心が成長したと考える。また、異文化に触れる場面も多かったため、相手のアイデンティティを理解しながら、自分だけでなく相手を尊重できる自己成長の向上にも繋がったと考える。このような経験は、自分自身の自信にも繋がったため、これからの学生生活や就職活動のときに挑戦したいことがあれば自分から積極的に行動し、仲間と協力する作業があればタイで学んだ協調性を活かしていきたいと考える。
5. 自由記述	タイで実施されたアジア研修に参加したおかげで、普段接点がない他学年の学生と話す機会にもなったり、現地の友達ができたりしたので本当に参加して良かったと心から感じた。また、タイに行かなければ気づけなかったことも多くあり、自分の価値観も変化して視野も広がったと感じるので参加した大きな意味を感じた。そして、またタイに訪れたいと思えるほど楽しい時間を過ごせて、私のバディは来月留学で日本に来てくれるので、また会う機会を作って更に絆を深めたいと考える。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 2 月 27 日

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間 週）					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は留学をするために神戸国際大学に入学しました。そして、費用の面を考慮して行ける時期になったので参加を決意しました。一週間を選んだのは初海外のオーストラリアの一个月は自分も親も不安が大きかったためです。目標は凝り固まった自分の価値観や視点に新しい発見を与えることです。もう一つは、海外の人ともコミュニケーションを取り友達になり、自分のコミュニケーション能力を試す、また向上させることです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	最初はバディとコミュニケーションを取り仲良くなりました。たくさん寺に行き文化学習をし、たくさん写真を撮りました。たくさんデパートや市場に行き、現地特有の食材、お菓子を食べたりお土産を購入しました。大学では、それぞれのテーマをもって発表、EAUの学生によるタイ語の授業などを受けました。生活面では基本現地の物はすべて日本に比べると安いので、あまり困ることはありませんでした。観光地では基本高いものが多いのでローカルな市場などでお土産は買ったほうがいいと思いました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	目標は基本すべて達成できたように感じます。特にコミュニケーションの部分では、バディとは非常に仲良くなり、日本に帰国した今も連絡を取り、一緒にゲームをしたり日本で再会する約束もしています。新しく発見したことは、タイならではのものが多かったように思います。例えば、「屋台のご飯が安くておいしいのに毎日食べても飽きない」ということや「タイは日本と比べるとリラックスした空気感と活気が混ざって面白い」ということなどです。新しく感じたことは、自分の中での価値観や感情の部分が大きかったように感じます。タイでは人のやさしさに何度も救われました。バンコクの喧騒や活気、一方で郊外に行くとゆったりとした空気が流れるというすごい空気の移り変わりの中でも自分はやっていけるんだなと感じました。暑さや食べ物、人々の笑顔などいろいろな要素が絡まって特別な経験になりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はタイの人々の生き方を今後の自分に活かしていけると感じました。タイの緩やかな時間の流れや人々の優しさを知った経験は、いろいろな価値観を受け入れる力になると思います。また、自分にも少し自信がついたように思います。勢いで初海外に挑戦し、友達も作り、体調も崩すことなく過ごすことができたことは、今後壁にあたった時にも自信につながると思います。
5. 自由記述	すごく良い経験になりました。ありがとうございました！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 2 月 27 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	タイ	留学先大学名	イースタン・アジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	異文化に触れたり、日本と違う土地で暮らす人たちと関わることで新たな発見や新たな考えを持つことができると思い、このプログラムに参加しました。また、タイの人たちと一緒に何かをしてみたいと思ったのも理由の一つです。さらに、歴史的な建物を見たり観光名所に行ったりし、タイの歴史を知ること、現地の人からのお話を聞くことなど、このプログラムに参加することで得られるものがあるのではないかなと思ったからです。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など）	タイの学生さんがタイの社会問題についてプレゼンテーションしてくださいました。PM2.5やゴミについての環境問題であったり、詐欺被害についてなど日本でも起こっているような問題のプレゼンテーションでした。また、Meijiの会社にも訪問し、ヨーグルトができる過程やそれについての説明を受けました。さらに、歴史のある寺院に行ったり、タイの伝統衣装を着たりするなど、タイの歴史に触れることができました。パディーとマーケットやショッピングモールに行き交流を深めることができました。
3. 留学の成果 （ ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など ）	タイの歴史のある寺院に行ったり、古くから存在しているタイの食べ物を作ったり、タイの陶器や戦争で使われたものなどが展示されている博物館に行ったりし、タイの歴史を知ることができました。その時に学生や先生方から説明を聞き、知らないことだらけで新しい発見となりました。寺院の中には何千年も前から存在しているものがあつたり、日本式の仏像が置かれてあつたりするなど、とても貴重なものを見ることができました。また、タイの民族衣装を着ることができ、画像では見ていたけれど、実際に着ることでのどのような仕組みで完成しているのかなど知ることができました。さらに、タイの学生さんのプレゼンテーションでタイの社会問題について知り、問題への対策などを聞いて日本と重なるものがあり、自分にとっても勉強になりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	日本と違う文化や慣習の国に行き、普段の生活と違うことばかりでした。けれど、そのおかげでいろいろな考えを持つことができたり、理解する力がつきました。また、このプログラムだからこそできるパディーとの交流であったり、現地の大人の方との関わりがとても貴重なものになりました。そこで得たものがたくさんあったので、今後活かしたいと思います。さらに、今後外国人の方と触れ合う機会があった時には、タイを通して学んだことなどを行動に活かしていきたいなと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 2 月 28 日

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学したいと思った理由は、海外に興味があったからです。小さいころから海外に興味があり、大学生になったら留学すると決めていました。大学生活で様々な留学を経験してみたいと思っていましたが、私は今まで海外に行ったことがなく、留学は少し不安もあったので1週間のアジア研修を選びました。日本とは違う文化を体験したい、海外ならではの景色がみたい、現地の人とたくさんコミュニケーションをとりたいという目標をもって参加しました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など）	一日目は夕方ごろタイに到着し、ショッピングモールのフードコートで初めてのタイ料理を食べました。二日目は大学に行き大学の紹介、プレゼン、バディとゲームなどを通し交流しました。その後マーケットに行き、ご飯を食べたり、買い物したりしました。三日目は企業見学で明治に行きました。その後はアユタヤに行き民族衣装を着たり、象に乗る体験もしました。四日目はタイ料理を作ったり、寺院に行きました。五日目は閉会式でお土産をたくさんもらいました。また、博物館に行ってタイの歴史を説明してくれました。最終日はチャットチャックマーケットに行き、お土産を買いました。
3. 留学の成果 （ ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など ）	日本とは違う文化を体験したい、海外ならではの景色がみたい、現地の人とたくさんコミュニケーションをとりたいという目標は達成できたと思います。初めて海外に行った私にとっては全部が新鮮な景色で、海外ならではの景色をたくさん見ることができたと思います。また、1週間バディとたくさんコミュニケーションをとることができ、最終日空港でお別れするのが寂しくなるくらい仲良くなれました。新しく発見したことは、日本にはほとんどいない野良犬がいたこと、信号がない道が多かったこと、お店で袋が有料ではなかったこと、バイクに乗っている人のほとんどがヘルメットを着けていなかったことです。また、バイクは二人乗りが多かったなと思いました。新しく感じたことは、タイの方は優しい人が多いと感じました。お店やホテルの人も私が日本人だとわかると日本語でありがとうと言ってくれたり、わかりやすく英語で話してくれるなど気遣いを感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	バディとコミュニケーションをとる上で、日本のことを教えてほしいと言ってくれたけど意外にわからないことが多くて調べて伝えるということが多かったので、自分の国のこともたくさん知りたくなりました。次、留学する機会があったら日本のことをたくさん伝えてコミュニケーションがとれるようになりたいと思いました。この留学経験を通して知り合えたバディが、来年神戸国際大学に来てくれるので日本をたくさん案内できるようにになりたいと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 1 日

海外留学報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化・観光ビジネス	学科	1	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	タイ	留学先大学名	イースタン・アジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は海外に行ったことがなかったのですが、興味があったので今回の研修で初の海外に挑戦してみようと思いました。この研修で目標にしていたことは、自分のバディの方達と仲良くなって日本に帰国することです。私は海外の言葉や文化に興味があったのですが、日本との違う価値観や考え方の海外に自分が合うのかとても不安なところもありました。ですが、バディがついてくれるというこの機会に、お互いに楽しく話せるようになりたいと思いました。バディの方達も知らない日本のことについてたくさん話して共有するのが目標でもありました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など）	協定大学に行き、そこでお互いがプレゼンの発表をしました。私たち神戸国際大学側は、日本で今流行っているアニメや、ファッション、お祭りを紹介しました。タイの学生達は現在タイで問題になっている社会事情について日本語でプレゼンしてくれました。また、屋台のようなナイトマーケットに行き、そこで夕食を食べました。その他にも象乗り体験や、タイの伝統的なお寺、大仏の訪問をしました。お寺を観光する際、タイの伝統的な服を着ました。また、タイにある明治の工場見学に行き、製造過程の見学やその工場でのこだわりを学ぶ機会があり、最後にヨーグルトの試食をさせていただきました。昼食や夕食はデパートが多かったのですが、バディの方が注文の際に、味を教えてくれ、助けてもらいました。
3. 留学の成果 （ ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など ）	今回の研修で目標にしていたバディと仲良くなることはできたと思います。たくさん自分から話しかけてそれに相手も応えてくれたと感じたからです。例えば、料理を注文する際に、自分が辛い食べ物が苦手だと伝えるために、バディのバームさんにタイの料理の特徴を聞き、辛さを減らすことができるかを伝えるように言葉もジェスチャーを交えてコミュニケーションをとったことがありました。日本語が全て伝わるわけではないので、お互いにどうやったら伝わるだろう、相手はどういう風な話し方なんだろうと試行錯誤して話し合っていたと感じました。また、好きな色の話をしていた際に、私が紫色が好きだと伝え、バディが、紫色のコップやヘアゴムをプレゼントしてくれた時は、自分の考えや言葉が相手にきちんと伝わっていることはこんなにも嬉しく感じるんだと気づきました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	初めての海外で不安なことの方がたくさんありましたが、得られたこともたくさんあった研修でした。引率の先生と参加していた同級生、先輩達以外は全く知らない環境での生活でした。わからないことだらけでしたが、タイの学生の方達が率先して手助けをしてくれたのでとても心強かったです。この経験を生かし、この先も海外の留学のみならず、右も左もわからないような不安な状況になった際は、助けてもらったタイの学生の方達のように、焦らずに、広い視野で物事を捉えられる力をもち、自分が誰かを助けられるようになりたいと強く思いました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 2 月 27 日

海外留学報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	アジア研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 17 日 ～ 2025 年 2 月 23 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	タイ	留学先大学名	イースタン・アジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	元々海外に興味があり、海外へ行ってみたいという思いがあり留学をしました。しかし、初めての海外は不安だったので、初めてでも参加しやすいアジア研修に参加しました。また、何か新しいことに挑戦してみたいと思ったことも留学した理由です。これからの就職や将来への視野を広げたいという目的があったため、日本だけではなく、他の国に行くことで新しいことを学べると思いました。他にも、私はコミュニケーション能力に自信がないのでその向上にも役立つと思いました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など）	現地の大学でタイ語を習ったり、お互いの国について国の問題や、国の文化などについてプレゼンしました。そして、meijiへの企業見学やアユタヤの見学、像に乗る体験、タイの民族衣装を着たり、タイで食べられているお菓子を作ったり、タイのお寺の見学などタイの歴史や文化を学びました。他にも、タイで有名なマーケットに行きました。日本ではなかなか見られないものや、体験をたくさんすることができました。現地の学生と毎日一緒に行動しながらタイのことについて教えてもらったり、日本のことについて話し交流することができました。
3. 留学の成果 （ ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など ）	私はこのプログラムを通してコミュニケーション能力を少しでも高めたいと思っていたので、現地の学生との会話や現地の人との会話を通して、コミュニケーション能力を高めることができましたと思います。また、それぞれの国のプレゼンテーションをして、タイの問題や、日本の問題について似ているところがあったり、国の政策について知ることができ、問題解決に向けていろいろなことを知ることができたと思います。タイの学生との交流の中で、いろんなタイ語の由来について説明してくれたり、逆に、日本のことについて説明したり、それぞれの国についてたくさん知ることができました。また、ほかの国で生活するときに適応能力がとても大切だと感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学の経験で、何にでも挑戦してみることの大切さに気づきました。また、自分から話しかけたり、コミュニケーションをとることが前よりもできるようになったので、これからもっと自信をもっていろいろなことに挑戦していきたいと思いました。次は、英語で話せるようになりたいという目標があるので、その目標が達成できるように家での勉強や、学校での勉強を頑張りたいと思いました。また、語学学習の留学プログラムにも挑戦してみたいです。
5. 自由記述	タイの人はとても優しく、初めての海外で不安もありましたが、楽しく過ごすことができました。機会があればまた行ってみたいと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート**

プログラム名（ ） 学番（ ） 氏名（ ）

以下の各項目それぞれについて、

1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

のいずれかを選んで、（ ）の中に数字で答えて下さい。

※3を選んだ場合、その理由を（ ）外に簡潔に記入して下さい。

1. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラム／GC 体験プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。 ()
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。 ()
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

2. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

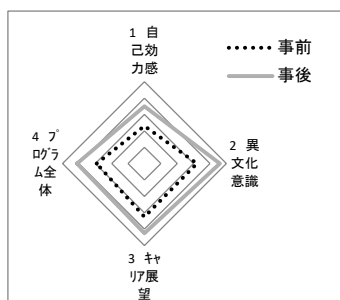
3. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事が決まらなくなっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

2024年度後期 アジア研修(タイ)参加前後における意識調査アンケート結果 対象者:7名

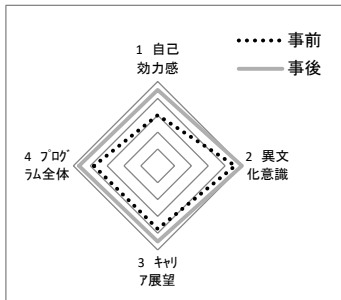
【参加者A】

	事前	事後
1 自己効力感	2.3	3.5
2 異文化意識	3.2	4.6
3 キャリア展望	3.3	4.3
4 プログラム全体	2.9	4.1



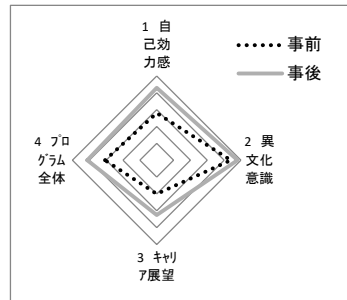
【参加者B】

	事前	事後
1 自己効力感	3.0	4.5
2 異文化意識	4.6	5.0
3 キャリア展望	3.8	4.5
4 プログラム全体	3.8	4.7



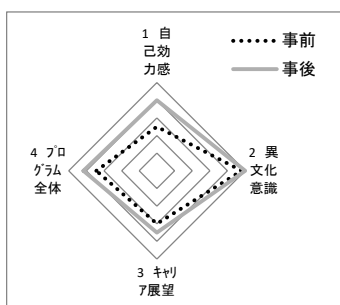
【参加者C】

	事前	事後
1 自己効力感	2.8	4.3
2 異文化意識	4.4	4.8
3 キャリア展望	2.0	3.3
4 プログラム全体	3.1	4.1



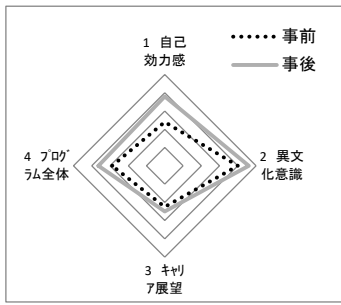
【参加者D】

	事前	事後
1 自己効力感	2.5	4.0
2 異文化意識	4.8	5.0
3 キャリア展望	3.0	3.5
4 プログラム全体	3.4	4.2



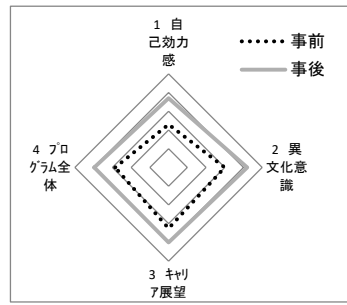
【参加者E】

	事前	事後
1 自己効力感	2.4	3.8
2 異文化意識	4.0	4.6
3 キャリア展望	2.3	2.5
4 プログラム全体	2.9	3.6



【参加者F】

	事前	事後
1 自己効力感	2.3	3.7
2 異文化意識	3.0	4.2
3 キャリア展望	3.3	4.0
4 プログラム全体	2.9	4.0



【参加者G】

	事前	事後
1 自己効力感	3.1	3.1
2 異文化意識	4.0	4.2
3 キャリア展望	2.5	2.5
4 プログラム全体	3.2	3.3

